

信州大学環境科学論集 (No.1 ~ No.7) 著者索引 (アイウエオ順)

【ア行】

- 荒木正夫：信州における湖沼の流動特性と排水拡散の
数値予測に関する研究の概況 1：26-28
———：湖沼汚濁防止対策の一環としての湖流解析
研究 2：70-71
———：多目的ダムの建設と河川環境
4：56-63
上田五雨：生理学的環境論 6：99-100
———：青海省における高原医学の紹介
7：99-100
→ 小林俊夫，→ 酒井秋男
氏原暉男：ヒマラヤの東と西 — ヒマラヤの環境を考
える 6：132-133
内川公人・山田喜紹・熊田信夫：フトゲツツガムシ
Leptotrombidium pallidum の棲息環境に関する
一知見 5：72-77
———・佐藤潔：長野県のマダニ相と人マダニ咬症
の原因種の分布状況について 5：78-82
———・山田喜紹・熊田信夫：長野県における恙虫
病の発生と媒介ツツガムシ類に関する調査の現状
6：63-70
———・服部功・小林浩一・広沢毅一：鈴木のツル
グレン装置の改良と地表部における恙虫類幼虫の
分布状況 7：71-75
沖野外輝夫・杉本剛士・渡辺雄二・倉澤秀夫：農村地
域の水管理と指標生物 2：22-26
———：諏訪湖集水域生態系研究
5 (特別寄稿)：137-144
———：観光地の散在性廃棄物 — その対策と効
果 6：116-122
———：諏訪湖の保全対策 7：12-17
→ 倉沢秀夫，→ 渡辺義人
奥谷巖：大気汚染の予測に関する基礎的研究
6：46-50
———：道路環境アセスメントとしての大気汚染の予
測 7：33-37

【カ行】

- 加藤彰郎：環境科学を考える 1：110
亀山章：地域計画における景観生態学の応用
7：1-4
川上浩：環境科学と災害科学 3：69

- 川上浩・斎藤豊・和田清：白樺湖周辺の開発への適性
からみた自然環境容量の数量的評価
5：16-23
———・阿部広史：諏訪湖周辺の地盤沈下と地盤土の
特性 6：13-20
吉良竜夫：環境の構造と環境科学
3 (特別寄稿)：75-80
釘本完・那須裕：アオウキクサ (*Lemna*) を利用した
環境モニタリングの基礎研究 — 水中重金属とア
オウキクサの増殖 — 2：6-14
———・———：———
——— — アオウキクサに
よる重金属取り込み — 3：14-20
———・———・田中修・滝本敦：———
——— — 銅とカドミウム
の吸収・蓄積 — 4：1-8
———・———・———・柳瀬大輔・滝本敦：———
——— — カドミウム，銅，
鉄の吸収蓄積における相互作用 —
5：118-123
→ 河野行雄，→ 田中修，→ 山浦源太郎，
→ Yanase, D.
倉沢秀夫：諏訪湖のプランクトンおよび大型水生植物
の優占種の経年変化と湖の富栄養化の関連
1：1-12
———：諏訪湖の富栄養化と各種漁獲物量の経年変
化との関係 2：15-21
———・山本雅道・沖野外輝夫：諏訪湖の魚貝類相
の変遷と移植放流種について 3：1-6
———・磯部吉章：諏訪湖各種移植魚貝類の放流年
次と各種の年間漁獲物量順位の推移 3：7-13
———：諏訪湖の網生簀鯉量と漁獲量の関係
4：9-13
———・沖野外輝夫：諏訪湖の富栄養化と生物群集
の変遷 5：1-15
———：諏訪湖における主要魚貝類放流量と漁獲量
との経年変化の関連 (1912-1980) 6：1-12
———：40年間 (昭和20-59年) の研究遍歴余話
6 (特別寄稿)：134-154
→ 沖野外輝夫
河野行雄・鹿角孝男・釘本完：諏訪湖底泥中のリンお
よび窒素の挙動 — 分布と存在形態 —

6 : 21-26

合田健：新しい水質クライテリア

4 (特別寄稿) : 72-92

小林俊夫・矢崎久美・吉村一彦・福島雅夫・久保恵嗣

・半田健二郎・草間昌三・酒井秋男・上田五雨：高血
圧自然発症ラット (SHR) およびWistar 系ラッ
トの長期高地環境暴露による心肥大に対する

Verapamil の効果 6 : 101-103

→ 酒井秋男

【サ行】

酒井秋男・浜畑学：本州八ヶ岳を中心とした野生小哺乳
類とその高地適応

Sakai, A.・Ueda, G.・Kobayashi, T.・Shibamoto, T.・
Yoshimura, K.・Fukushima, M.・Kubo, K. :

Potentiated Effects of Cold and Low-Pressure in
Sheep Pulmonary Hemodynamics 5 : 88-93

——・上田五雨・小林俊夫：ラットの低圧耐性獲得
に対する間欠的低圧暴露の効果 6 : 104-109

——・——・吉田安雄・小林俊夫・久保恵嗣

：野生ヒメネズミにおける高地性右心室肥大の低
地順応 7 : 56-60

→ 小林俊夫

坂本博：環境概念の再検討 3 : 54-63

——：「個人」という名の環境の崩壊について

4 : 43-51

桜井善雄：農村地域における生活廃水の処分をめぐつ
て 1 : 34-37

——：大町市農具川を河川自然・文化公園として
整備する構想 6 : 110-115

——：千曲川中流域における河床 periphyton によ
る有機物生産とその河川水質への寄与

7 : 25-32

佐納良樹・島田昌代・永浜勇二・杉本泰隆：重金属を
含む多硫化カルシウムスラッジの濾過性

6 : 40-45

清水建美：松本市郊外三城地区、とくに「県民の森」
の植物について 1 : 52-69

——：研究センターをつくろう 2 : 72

——：植物の貴重度からみた環境評価の試み

4 : 16-19

——：緑の地球防衛基金 5 : 134-135

——・金井弘夫：北安曇郡雨飾山における高等植
物のフロラおよび垂直分布 6 : 77-86

——・近田文弘・山本雅道：植物種の属性評価に
基く環境診断予報 7 : 81-88

【タ行】

高田靖司・土田勝義・八神徳彦・子安和弘・植松康
：ビーナスライン美ヶ原線建設と哺乳動物

—1977-1980年のモニタリング— 4 : 26-31

武居良明：観光開発と自然破壊 1 : 29-33

——：観光開発と自然環境の保全をめぐって
2 : 1-5

只木良也：浅間山南斜面における葉量分布図作製の試
み 1 : 13-25

——：南木首床浪高原における葉量分布図

2 : 27-31

——：環境・環境科学・森林 3 : 67-68

——：40億人の共有物—森林— 4 : 64-69

——：長野県下にも拡がりはじめた松枯れ被害に
寄せて 5 : 102-105

——：人間生活環境としての緑 5 : 106-111

——：国土の真の緑環境保全者は誰か

6 : 123-126

——：みどりのまちづくり(講演記録)

7 : 92-97

田中修・柳瀬大輔・滝本敦・那須裕・釘本完：アオウ
キクサ (*Lemna*) を利用した環境モニタリングの

基礎研究—銅とカドミウムの吸収・蓄積に影響を
及ぼす栄養塩類— 5 : 124-130

→ 釘本完, → Yasase, D.

田中邦雄・堀内義・川久保清仁・永田勇夫・吉田稔

：美ヶ原・三城付近の地形と地質 1 : 42-51

——・遠藤忠慶・堀内義・川久保清仁・窪田英夫
・永田勇夫・吉田稔：立壁沢砂岩泥岩層の層序と堆積

機構についての一考察—美ヶ原三城地域の湖成
層の研究 その2— 2 : 45-62

——・寺平宏：上伊那南部の段丘地形について

5 : 44-54

——・下平眞樹・遠藤忠慶・熊井深志：長野県聖
山南麓の新第三系—特に堆積相と構造運動につ

いて— 6 : 27-39

玉井袈裟男：「長野県環境モニタリング教育・研究プ
ロジェクト」—仮称—の発想について

1 : 110-113

土田勝義：美ヶ原高原南斜面の植生に関する研究

1. 低山帯(三城地区)の植生の組成と構造

1 : 70-80

——：——

2. 亜高山帯の植生の組成と構造(1)

3 : 28-34

——：——

3. 亜高山帯の植生の組成と構造(2)

5 : 112-117

土田勝義：美ヶ原高原南斜面の植生に関する研究
 4. 植生の分布と地形環境 6 : 87-93
 ——：霧ヶ峰高原におけるヒメジョオン類の分布
 と環境要因に関する研究 I. —メッシュ法による
 解析 (1) — 7 : 76-80
 → 高田靖司, → 八神徳彦

豊国秀夫：生物起源空中浮遊微粒子物質定量の一方法
 1 : 38-41
 ——：長野県産の貴重なリンドウ科植物
 2 : 32-36
 ——：植物系統分類学と自然保護 — ウプサラ大
 学創立 500 年記念のシンポジウムの記録を中心に
 3 : 71-74
 ——：ナフタリンによる植物標本室の空気汚染に
 ついて 4 : 41-42
 ——：ニルス博士を囲んでの「花粉ゼミ」につ
 いて 4 : 71
 ——：ソビエト連邦における貴重植物の保護
 —文献紹介— 5 : 131-133
 ——：ストックホルム花粉研究所と空中花粉研究
 6 : 127-130
 ——：国際空中生物学会, 過去と現在
 7 : 101-102

【ナ行】

中島民江・奥山周作・村山忍三・佐藤章夫：環境汚染
 物質の生体への影響 — アルコールによるベンゼ
 ンの毒性の増強作用について 5 : 94-101

那須(中島)民江・村山忍三：長野県下の河川水およ
 び水道水の水質調査 — 河川水, 水道水のカルシ
 ウム, マグネシウム, 鉄, 亜鉛濃度 —
 7 : 47-55

中村登流：原生林での多角的調査と長期観測の必要性
 1 : 108
 ——：ブナ原生森内の空地と鳥類群集構造
 2 : 37-44
 ——：環境観について 3 : 64-66

【ハ行】

羽田健三・撫養明美・浜中満男・橋渡勝也：木首岩倉
 国有林における夏のニホンカモシカへの食物供給
 量 5 : 66-71
 ——・中村浩志・小岩井彰・飯沢隆・田嶋一善
 : 白馬連峰におけるライチョウのなわばり分布と
 個体数 6 : 71-76

藤山静雄：環境問題への一警鐘 — 生物学的立場から

4 : 52-55

藤山静雄・宮地計雅：ヨモギハムシの発育と生存に及
 ぼす飼育密度の影響 7 : 61-65

別府桂：志賀高原の湖沼の汚染状況 — ショウジョウ
 バエを指標種にして — 7 : 66-70

星加安之・村山忍三：代表的発生源からの微量臭気成
 分のキャラクタリゼーションと高沸点硫黄化合物
 (三硫化ジメチル)の挙動 5 : 55-59
 ——：名古屋上空大気の臭気官能試験結果
 —ヘリコプターによる高度 300 mの大気汚染物質
 濃度との同時測定調査時の経験 5 : 60-65
 ——・小山裕・奥山周作・五味-エリザ-エリカ
 ・村山忍三：硫黄廃鉱下流における水資源の保全と健
 康の保護に関する研究(第一報)—長野県須高地
 方における硫黄廃鉱からの酸性河川水中金属イオ
 ンおよび陰イオンの分析— 6 : 51-55

星川和俊・松田松二：美ヶ原高原南斜面の水文量変動
 特性と水収支 1 : 100-107
 ——：直達日射強度の推定に関する一考察
 6 : 56-62
 ——：美ヶ原高原南斜面における観光利用実態
 —三城地域での交通量とアンケート調査結果につ
 いて 7 : 5-11
 → 松田松二

【マ行】

侯野敏子・Marek RUSZKOWSKY・Ivan KREFT：日本
 とヨーロッパ産普通ソバ (*Fagopyrum esculentum*
 M.)の諸特性に関する研究 — ポーランド, ユー
 ゴスラビアとの共同研究の予報 — 7 : 89-91

松田松二・星川和俊：美ヶ原高原南斜面の地形環境
 1 : 92-99
 ——・——・鳥井清司：美ヶ原高原南斜面の地
 表温度と土地利用環境に関する研究 2 : 63-69

Matsuda, M. : Simplified Potential Productivity
 3 : 49-53
 ——・星川和俊：地域生産力評価への一試み
 —日射・地形・生産諸条件からの考察 4 : 32-40
 ——：Klimatische Grundlagen für die
 Berechnung der Potentiellen Productivität des
 Suwa Beckens Mittels Rasteranalyse und
 Multispektralen Scanner-Aufnahmen
 5 : 39-43
 → 星川和俊

松本直司：白樺湖周辺の景観保全からみた自然環境容
 量の数量的評価 5 : 24-30

【ヤ行】

- 八神徳彦・土田勝義：美ヶ原高原南斜面の哺乳動物に
関する研究 I. 低山帯植生と小哺乳類の種構成
1 : 81-88
- II. 亜高山帯における小哺乳類の分
布と生息環境 3 : 35-48
→ 高田靖司
- Yanase, D.・Tanaka, O.・Nasu, Y.・Takimoto, A.
・Kugimoto, M. : Effect of EDTA on Copper
and Cadmium Absorption in *Pharbitis nil* and
Triticum aestivum 6 : 94-98
→ 釘本完, → 田中修
- 山浦源太郎・鈴木富雄・樋口澄男・釘本完：トレンチ
による生活系排水の処理とその土壌への影響
7 : 38-46
- 吉田利男：三城地区の蝶相について 1 : 89-91
—————：上高地のイワナの行くえ 2 : 71-72
—————：キシヤサデの生態について
3 : 27
—————：上高地のイワナ — その後の行くえ —
4 : 14-15
—————・山本雅道：長野県内の淡水魚類について
5 : 83-87

【ワ行】

- 渡辺義人：水圏における重金属の挙動の研究と環境モ
ニタリング 1 : 109-110
—————・渡辺圭子：河川の水生植物を用いた水質モ
ニタリングの基礎研究 — 水生植物における Cu,
Zn の濃度とその吸収 3 : 21-26
—————・山本満寿夫：陸域から河川への溶存物質の
流出量とその流出特性 — 神川上流域(菅平高原)
について — 5 : 31-38
—————・沖野外輝夫：湖沼の水質保全からみた白樺
湖流域の自然環境容量 7 : 18-24
- 渡辺隆一：環境の広がりについて 1 : 108-109
—————：自然と環境と教育と 2 : 71
—————：環境教育について 3 : 70
—————：分断された自然の科学 4 : 70
—————：地域自然・自然教育について
5 : 136
—————：環境問題メモ 6 : 131
—————：自然教育の前提と手段 7 : 98

以 上

急に思い立って索引の編集をしたので、十分な校正・
検討ができず、不備な点が多々あると思いますが、お許
し下さい。特に今回は各論文の first author を中心にし
て編集しました。その author が他の処で共著者となっ
ている場合は(→)で参照すべき author を示しました。
first author でない方々についても当然索引に加えなけ
ればならないのですが、紙面と時間の都合で果せたなか
ったことを、おわびします。

(那須裕 記)